

# 神奈川県内の「やぐら」集成（4）

## －「やぐら」出土の土器・陶磁器類について－

中世研究プロジェクトチーム

### はじめに

本プロジェクトでは、平成14年度から、中世の神奈川を特色づける遺構である「やぐら」の共同研究を行っており、これまで基礎的なデータの集成を主に行ってきた。14年度は発掘調査が実施された「やぐら」に関する調査データの集成を行い、15年度は上行寺東やぐら群を中心とする横浜市南部地域の「やぐら」群を対象に、分布状況、形態的特徴、出土遺物等から検討を加えた。昨年度は「やぐら」から出土する遺物の検討の端緒として、石塔類のデータ収集を行った。今年度は当初、昨年度収集したデータを元に、石塔類の分布やあり方について検討を行う予定であったが、その前に「やぐら」から出土する遺物の基礎的なデータ集成が必須と考え、今年度は「やぐら」出土の土器・陶磁器類についてデータを集成することとした。

来年度以降、これらのデータを元に「やぐら」出土遺物の特徴や、出土遺物から見た「やぐら」の様相について検討を加えていきたいと考えている。

なお、今回データ収集対象とした調査事例の中には、平成14年度集成以後に発行された報告書に基づく者や、前回集成で遺漏があったものも含まれている。これらについては新たに遺跡（調査）番号、文献番号を付し、補遺として末尾に掲載した。

### 「やぐら」出土土器・陶磁器類集成表 例言

1. 本集計表は2005年12月現在公刊されている発掘調査報告書に基づき、「やぐら」及び「やぐら」に類する遺構から出土した土器・陶磁器類を集成したものである。
2. 発掘調査報告以外の、分布調査、資料紹介等で報告されているものは除外した。
3. 一覧表は横浜市、鎌倉市、横須賀市、逗子市、三浦市、葉山町の順に作成した。
4. 遺跡番号は平成14年度紀要（「やぐら」集成（1））および平成16年度紀要（「やぐら」集成（2））と同じ番号を付している。2005年1月以降に報告書が刊行された調査例および遺漏分は新たな番号を付している。
5. 文献番号は後出の文献一覧と対応する。
6. 出土遺構名は報告書記載の遺構名に従った。
7. 出土遺物の種別・器形名称は原則として統一しており、報告書と異なる場合がある。しかし、限定が困難な場合、報告書の記載に準じて標記しているものもある。
8. 明らかに中世の所産ではない古代以前、近世以降の出土遺物については割愛した。
9. 年代は報告書の記載に準じた。報告書に具体的な年代の記載がないものについては、図面・写真からの推定したものもある。
10. 出土点数は報告書に数量の記載があるものはその合計数、ないものは図示されているものを計数した。このため、必ずしも統一的な基準による出土量（数）を表してはいない。

第1表 「やぐら」出土土器・陶磁器類一覧表

遺跡名	出土遺構	出土遺物	年代	文献番号
釜利谷やぐら群	7号窟	かわらけ1		1
瀬戸町やぐら群 (金龍院やぐら群)	第3号やぐら	かわらけ6	15世紀後半	2
	第4号やぐら	常滑窯甕1、かわらけ1	15世紀後半以降	
	第5号やぐら	瀬戸窯折縁深皿1、筒形容器1、常滑窯甕1、かわらけ4	14世紀後半~15世紀後半	
	第9号やぐら	常滑窯甕1	15世紀後半	
上行寺東やぐら群	1号窟	瀬戸窯甕鋸釉擂鉢2・灰釉鉢1・皿1、常滑窯甕3、かわらけ21、瓦質三宝1・土風呂1	15世紀・16世紀	3
	2号窟	青磁大皿1、青白磁梅瓶1、瀬戸窯灰釉折腰皿1、かわらけ2	15世紀	
	19号やぐら	古瀬戸灰釉巴文瓶子1、鉄釉仏花瓶1、灰釉鉢または皿1、常滑窯壺1、甕1、捏鉢2、かわらけ17	14世紀中頃~16世紀初頭以降	
	20号やぐら	常滑窯玉縁口縁壺1、鉢1、かわらけ6	14世紀代、15世紀後半以降	
	21号やぐら	景德鎮窯青白磁蓋1、常滑窯捏鉢1、かわらけ8	14世紀後半~16世紀前半	
	22号やぐら	古瀬戸灰釉劃花文瓶子1、常滑窯玉縁口縁壺4、常滑窯壺1、甕1、かわらけ48	14世紀中頃~16世紀初頭	
	23号やぐら	常滑窯片口鉢1、瓦質火鉢1、かわらけ11	14世紀後半~15世紀前半	
	41号やぐら	白磁碗1、かわらけ1	14世紀中頃~後半	
	9号やぐら	古瀬戸縁釉小皿1、常滑窯甕7・片口鉢1、備前擂鉢1、かわらけ15	14世紀後半~16世紀初頭	
	10号やぐら	龍泉窯青磁小皿1、古瀬戸灰釉端反小皿1、常滑窯甕4、山茶碗窯系捏鉢1、羽釜1、かわらけ12	14世紀後半~16世紀初頭	
	12号やぐら	かわらけ2	15世紀前葉~中葉	4
	13号やぐら	かわらけ3	15世紀中頃~後半	
	24号やぐら	常滑窯玉縁口縁壺2、かわらけ7	14世紀後半~15世紀前半	
	17号やぐら	古瀬戸灰釉三耳壺1	15世紀初頭	
	18号やぐら	からわけ4	15世紀後半	
	43号やぐら	古瀬戸灰釉菊花文瓶子1、古瀬戸灰釉水注1	14世紀後半~15世紀前半	
	1号やぐら	古瀬戸鉄釉肩衝き茶入1	14世紀後半~15世紀前半	
	14号やぐら	龍泉窯系蓮弁文青磁碗1、古瀬戸縁釉皿1、山茶碗窯系片口鉢1、常滑窯甕1、かわらけ4	14世紀後半~15世紀中頃	
	26号やぐら	かわらけ2	14世紀後半	
	33号やぐら	かわらけ3	15世紀後半	
	34号やぐら	灰釉古瀬戸瓶子1・鉄釉花瓶片1・鉄釉蓮弁文香炉1・灰釉広口壺1・灰釉鉢1、常滑窯薺口壺2・不識(広口壺)1、玉縁口縁壺1、かわらけ15	14世紀末葉~15世紀初頭	
	35号やぐら	古瀬戸灰釉劃花文広口壺1・鉄釉合子身1・灰釉尊形花瓶1・直縁大皿2、常滑窯甕、瓦器花瓶・火鉢	14世紀前半~15世紀前半	
	36号やぐら	常滑窯甕1、かわらけ1、瓦器火鉢	14世紀後半~15世紀中頃	

遺跡名	出土遺構	出土遺物	年代	文献番号
上行寺東やぐら群	37号やぐら	中国製白磁碗1、古瀬戸灰釉袋物1、燭台片1・灰釉直縁大皿1、白かわらけ1、常滑窯片口鉢1・鳶口壺1・甕5・片口鉢、瓦器火鉢2、かわらけ16	13世紀第3四半期～15世紀第2四半期	4
	38号やぐら	常滑窯片口鉢1、瓦器火鉢1、中国製鉄釉器台1、かわらけ3	15世紀～16世紀前半	
	39号やぐら	古瀬戸灰釉瓶子1・縁釉小皿1・卸皿1、常滑窯甕3、羽釜瓦器火鉢4、かわらけ14	14世紀初頭～16世紀初頭	
	40号やぐら	古瀬戸灰釉袴腰形香炉・灰釉筒形香炉・卸皿・灰釉直縁大皿、常滑窯片口鉢1・甕6、かわらけ9	15世紀～16世紀	
六浦大道やぐら群	1号やぐら	かわらけ99	15世紀後半～16世紀前半	5
	6号やぐら	かわらけ3	15世紀後半～16世紀前半	
	8号やぐら	かわらけ9	15世紀後半～16世紀前半	
	15号やぐら	かわらけ1	15世紀後半～16世紀前半	
六浦北部遺跡	第9号横穴	かわらけ3、常滑系蔵骨器1		6
六浦三艘地区やぐら群	第2号やぐら	かわらけ	17世紀初頭	7
番場ヶ谷やぐら群	第4号やぐら	かわらけ4	14世紀前半～中葉	8
	第9号やぐら	かわらけ5	14世紀前半～中葉	
	第13号やぐら	瀬戸窯香炉1、かわらけ2	14世紀前半～中葉	
	第14号やぐら	かわらけ3	14世紀初頭～前半	
	第15号やぐら	かわらけ2	14世紀中葉	
	第17号やぐら	かわらけ1	14世紀後半以降	
	第19号やぐら	かわらけ2	14世紀後半	
十二所稻荷小路遺跡 内やぐら	1号窟	常滑窯甕1、かわらけ	14世紀前半～中葉	9
	2号窟	かわらけ1		
霧ヶ沢やぐら群	1号窟（前面）	かわらけ2、瓦1		10
	2号窟（前面・玄室）	瀬戸窯灰釉片口鉢・鉄釉擂鉢、かわらけ2、瓦2		
	3号窟	瀬戸窯鉄釉瓶1、瓦2		11
	4号窟	常滑窯甕、かわらけ17	14世紀	
	3号窟西側	かわらけ3、瓦13		
光触寺旧境内遺跡内 やぐら	4号窟	かわらけ4	14世紀後半	12
光触寺橋やぐら	1号やぐら	かわらけ7	14世紀中葉	13
明石谷やぐら群	1号やぐら	常滑窯片5、かわらけ10	15世紀末～16世紀初頭	14
	3号やぐら	常滑窯甕3、かわらけ3	15世紀末～16世紀初頭	
明石谷東やぐら群	1号窟	常滑窯甕3、かわらけ1	14世紀後半	15
	1号やぐら	かわらけ11、平瓦1、丸瓦2	14世紀中葉～15世紀中葉	16
	2号やぐら	瀬戸窯直渦大皿1	16世紀	
公方屋敷跡内やぐら	1～3号窟・前面 遺構	瀬戸窯灰釉水注1・碗1、瓦質器、かわらけ25		17
	2号窟前面	瀬戸窯行平、かわらけ	15世紀代～近世以降	
	1号窟	かわらけ8	14世紀後半～15世紀前半	19
	2号窟	龍泉窯系青磁鑄連弁文碗1、瀬戸窯鉄釉天目碗1、かわらけ4	14世紀後半～15世紀前半	
	3号窟	瀬戸窯灰釉折縁鉢1・卸皿1、備前窯擂鉢1、瓦質器1、かわらけ13	14世紀後半～15世紀前半	

遺跡名	出土遺構	出土遺物	年代	文献番号
公方屋敷跡内やぐら	第2平場	青磁連弁文碗1・碗1、瀬戸窯灰釉折縁鉢1・入子、常滑窯甕・片口鉢、山茶碗窯系片口鉢、かわらけ4617、かわらけ質小壺1	14世紀後半～15世紀前半	19
宅間ヶ谷やぐら群	1号窟	かわらけ2、瀬戸窯灰釉瓶子1、常滑窯片口鉢2、瓦質手焙り1、瓦1	14世紀後半	20
	やぐら上平場	常滑、かわらけ		
報国寺遺跡内やぐら		かわらけ1	16～17世紀？	21
宅間谷西第2やぐら群	1号やぐら	常滑窯大甕2、かわらけ32、瓦器土風呂1	14世紀前半～15世紀後半	22
	3号やぐら	常滑窯甕8、かわらけ2	14世紀末～15世紀前半	23
浄明寺釈迦堂ヶ谷遺跡	第1号やぐら	かわらけ13、常滑窯甕2、鉄釘1	14世紀前半	24
	第2号やぐら	瀬戸窯鉄釉陰花文水滴1、備前窯擂鉢1、かわらけ43		
瑞泉寺周辺遺跡内やぐら	1号窟	瀬戸窯灰釉碗1、常滑窯甕、かわらけ29	15世紀中葉	25
	2号窟	かわらけ1		
紅葉ヶ谷南やぐら群	第1号やぐら	白磁皿1、瀬戸窯縁釉皿2・直縁大皿2・折縁深皿1、常滑窯甕8・片口鉢1、かわらけ83・かわらけ質燭台1、蓋1、滑石製石鍋1、瓦	13世紀～15世紀後半	26
	第2号やぐら	瀬戸窯天目茶碗1、瓦質火鉢1、かわらけ4	15世紀前半～後半	
覚園寺総門跡東やぐら群	1号やぐら	瀬戸窯志野釉皿1、灰釉小壺1、かわらけ17、瓦器香炉1、火鉢1	15世紀後半～16世紀代	27
	3号やぐら	瀬戸窯灰釉平碗2、かわらけ5	14世紀後半～15世紀後半	
		龍泉窯系青磁皿1・碗1、瀬戸窯灰釉直縁大皿1・瓶子1・他2、常滑窯甕4、山茶碗窯系片口鉢1、かわらけ8、	15世紀	28
	5号やぐら	瀬戸窯灰釉折縁皿2、常滑窯甕2、かわらけ4	14世紀前半～後半	29
会下山西やぐら群	1号やぐら	瀬戸窯灰釉輪花入子1、瓦質火鉢2、かわらけ4	13世紀末～14世紀中葉	30
	2号やぐら	青白磁鉢1、白磁碗1、瀬戸窯灰釉鉢1、山茶碗窯系片口鉢1、伊勢系土鍋1、かわらけ7、瓦器1	13世紀末～14世紀前半	
天王寺跡やぐら	1号窟	白磁碗1・不明1、龍泉窯系青磁連弁文碗2・碗4、青白磁1、褐釉壺2、瀬戸窯灰釉折縁皿2・鉄釉瓶子1・鉄釉仏華瓶2・灰釉水注1、常滑窯甕3・片口鉢1、瓦質器3、かわらけ295、土師質手焙り1、瓦1	14世紀	31
	2号窟	龍泉窯系青磁1、瀬戸窯製品1、常滑窯甕5、瓦質器1かわらけ36、		
天王寺跡やぐら	窟	青白磁碗1、瀬戸窯灰釉筒型容器1・瓶子1・折縁皿1・常滑窯片口鉢1・甕1、瓦質器燭台脚1・火鉢1・香炉1、かわらけ23		32
	平場	龍泉窯系青磁碗1、瀬戸窯灰釉製品1・折縁皿(転用)1・常滑窯甕2・かわらけ57	14世紀～15世紀	
大倉幕府北遺跡	1号やぐら	瀬戸窯灰釉腰折皿1・碗、常滑窯甕1・甕3・片口鉢1、瓦質器2、かわらけ20、瓦1	14世紀？	33
	2号やぐら	青白磁梅瓶1、瀬戸窯灰釉碗2・卸皿1・常滑窯甕2・かわらけ21、瓦1	14世紀？	
大倉幕府北やぐら群	1号やぐら	白磁四耳壺5、瀬戸窯折縁皿1・盤1、美濃系山茶碗1、渥美窯甕26、備前窯擂鉢2・常滑窯甕96・片口鉢2、かわらけ710、瓦質火鉢7、丸瓦1、平瓦2	13世紀後半～15世紀初頭	34
	2号～5号やぐら	かわらけ235	13世紀後半～15世紀	

遺跡名	出土遺構	出土遺物	年代	文献番号
杉本城跡内やぐら	1号窟	常滑窯製品		35
	2号窟	かわらけ411	14世紀中葉～末	
杉本寺南やぐら		かわらけ		36
杉本寺周辺遺跡内やぐら	1号窟	白磁碗1・龍泉窯系青磁皿3・華瓶1・瀬戸窯灰釉仏華瓶1・灰釉瓶子1・鉄釉鉢1・常滑窯甕42・片口鉢1・渥美窯甕2・瓦質器5・かわらけ249、瓦2		37
	2号窟	瀬戸窯製品3・常滑窯甕33・片口鉢3・山茶碗窯系片口鉢、備前窯擂鉢、瓦質器1・かわらけ39		
	3号窟	常滑窯甕4・かわらけ45		
	4号窟	青白磁水注1・瀬戸窯灰釉折縁皿1・黒釉天目碗1・長石釉天目碗1・灰釉擂鉢1・鉄釉擂鉢1・壺類、常滑窯甕91・片口鉢3・備前窯擂鉢1・瓦質器9・かわらけ600、瓦1		
	5号窟	白磁1・龍泉窯系青磁1・瀬戸窯灰釉折縁皿2・灰釉卸皿1・灰釉茶入1・鉄釉仏華瓶2・常滑窯甕36・片口鉢4・かわらけ529、瓦2・瓦質器		
	窟前溝（1,2号窟間）	瀬戸窯灰釉折縁皿3・灰釉製品1・常滑窯甕14・片口鉢3・東海系鍔釜1・伊勢系土鍋1・瓦質灯明皿1・瓦質器3・かわらけ157		
	窟前溝（3,4号窟間）	瀬戸窯灰釉皿1・常滑窯甕2・片口鉢2・かわらけ45、瓦1		
西御門東やぐら群	1号やぐら	常滑窯甕12・瓦質火鉢3・かわらけ4	14世紀後半～16世紀初頭	38
	2号やぐら	かわらけ127・伊勢系鍔釜1	14世紀後半～15世紀	
	3号やぐら	青磁蓮弁文鉢1・常滑窯片口鉢1・甕9・かわらけ22	14世紀後半～15世紀前半	
	5号やぐら	古瀬戸広口有耳壺1・常滑窯甕片6・かわらけ8	15世紀～16世紀	
	6号やぐら	白磁口禿皿1・瀬戸窯天目茶碗1・小壺1・常滑窯甕1・かわらけ200	14世紀前半～15世紀前半	
	7号やぐら	青磁蓮弁文碗2・皿2・盤1・他7・白磁口禿皿1・瀬戸窯折縁深皿1・折縁皿1・卸皿3・皿または鉢1・盤1・壺または瓶1・柄付片口1・常滑窯甕65・広口壺1・鉢16、備前窯擂鉢2・山茶碗窯系鉢1・かわらけ6526、瓦質火鉢10・土釜1	13世紀後半～15世紀	
	8号やぐら	瀬戸窯灰釉皿片1・かわらけ95	15世紀後半～16世紀	
	9号やぐら	青磁碗1・蓮弁文碗1・皿1・香炉1・酒会壺蓋1・硯滴1・他3・白磁皿19・青白磁小壺1・梅瓶1・他1・染付瓶1・舶載系陶器片5・瀬戸窯平碗1・天目茶碗1・縁釉皿1・卸皿1・直縁大皿2・皿1・瓶2・擂鉢1・常滑窯甕・壺83・片口鉢4・かわらけ2348、瓦質火鉢2・獸足1・香炉1	13世紀後半～15世紀前半	
	10号やぐら	青磁蓮弁文皿1・皿2・瀬戸窯天目茶碗1・縁釉皿3・瓶子2・擂鉢1・常滑窯甕1・片口鉢6・山茶碗窯系片口鉢1・備前窯擂鉢1・かわらけ58、瓦質火鉢5・脚台2・土釜1	14世紀初頭～15世紀後半	39
名越山王堂跡	やぐら状遺構	龍泉窯系青磁酒会壺3・仏華瓶1・鎧連弁文碗1・青白磁仏華瓶1・白磁口兀皿1・仏華瓶2・小壺1・蓋1・瀬戸窯鉄釉筒形茶入1・灰釉折縁鉢1・灰釉卸皿1・常滑窯甕12・亀山窯甕3・かわらけ68、滑石製鍋1	14世紀後半	40

遺跡名	出土遺構	出土遺物	年代	文献番号
山王堂東谷やぐら群	第1号やぐら	かわらけ76	14世紀中葉	41
	1号やぐら	瀬戸窯灰釉四耳壺1・灰釉仏花瓶2・入子1・天目茶碗1・常滑窯甕10・捏鉢1・かわらけ647	13世紀中葉～後半、14世紀前半	42
	2号やぐら	瀬戸窯壺2・かわらけ11	14世紀中葉	
	3号やぐら	瓦器香炉蓋1・土鍋1・かわらけ22・滑石製石鍋1	14世紀中葉	43
	4号やぐら	かわらけ14	13世紀末～14世紀前半	
	6号やぐら	瀬戸窯天目茶碗1・灰釉壺1・常滑窯甕1・片口鉢1・瓦質火鉢1・脚台1・かわらけ14・平瓦1	15世紀代	44
	7号やぐら	青磁蓮弁文碗1・束口碗1・瀬戸窯小鉢1・常滑窯甕2・かわらけ3	13世紀後半～15世紀代	
	8号やぐら	瀬戸窯壺1・常滑窯広口壺1・甕1・かわらけ199・瓦質火鉢1・風呂1・平瓦1	13世紀初頭・15世紀前半	
	9号やぐら	常滑窯甕1・かわらけ29	14世紀末～15世紀前半	45
	11号やぐら	瀬戸窯瓶子1点・常滑窯片口鉢2・壺2・甕11・かわらけ171	14世紀前半	
八雲神社境内		龍泉窯系青磁壺1・常滑窯壺1・甕5・かわらけ23・瓦1	13世紀末～14世紀	46
弁ヶ谷東やぐら群	第1号やぐら	常滑窯大甕1	14世紀初頭～14世紀中頃	47
新善光寺跡内やぐら	1号やぐら	瀬戸窯天目碗1・擂鉢1・常滑窯壺1・かわらけ5	17世紀前葉	48
	2号やぐら（玄室）	瀬戸窯天目碗1・常滑窯甕2・かわらけ4・瓦質器1	14世紀後葉～15世紀前葉、16世紀後半～17世紀前葉	
	2号やぐら（前庭部）	青白磁梅瓶1・青磁酒会壺蓋1・青磁碗1・黒釉壺1・瀬戸窯折縁皿1・常滑窯甕5・瓦質器4・かわらけ7・瓦2		
	コ字区画遺構（上段遺構）	かわらけ14・瓦質器		
	コ字区画遺構（中段遺構上層）	かわらけ4		
	コ字区画遺構（中段遺構）	かわらけ8	14世紀後葉	49
	コ字区画遺構（中下段遺構）	かわらけ34		
	コ字区画遺構（下段遺構）	白磁四耳壺1・常滑窯片口鉢1・かわらけ7・瓦1	14世紀前半～中葉	
	第1号やぐら	青磁折縁皿1・蓮弁文碗2・皿8・盤1・白磁碗1・皿2・青白磁皿2・瀬戸窯灰釉折縁皿1・灰釉平碗1・灰釉卸皿1・鉄釉香炉1・常滑窯甕6・壺1・かわらけ8	13世紀中頃～15世紀中頃	
	第2号やぐら	白磁碗1・青白磁皿1・瀬戸窯灰釉折縁深皿1・鉄釉広口壺1・常滑窯甕2・かわらけ3	14世紀前半・15世紀前半	
弁ヶ谷遺跡やぐら群	1号窟	白磁入子1・瀬戸窯灰釉折縁鉢1・灰釉直縁大皿1・常滑窯甕、備前窯擂鉢1・瓦質器1・かわらけ14	14世紀	50
弁ヶ谷やぐら群	第1号やぐら	瀬戸窯綠釉皿1・灰釉卸皿1・かわらけ6・瓦質火鉢1・土風呂1	14世紀後半～15世紀後半	51
長勝寺跡内やぐら群	第1号やぐら	かわらけ18	15世紀後半～16世紀初頭	52
	3号やぐら	かわらけ片2		53

遺跡名	出土遺構	出土遺物	年代	文献番号
長勝寺跡内やぐら群	5号やぐら	瀬戸窯壺1、常滑窯甕2、かわらけ4	16世紀前葉～中葉	53
	6号やぐら	志野鉄絵皿片1、かわらけ2	16世紀後半	
	8号やぐら	常滑窯甕片1		
	11号やぐら	龍泉窯系青磁香炉1、瀬戸窯擂鉢1、常滑窯瓶1、かわらけ2	13世紀末～16世紀	
	13号やぐら	かわらけ1		
	14号やぐら	龍泉窯系青磁鉢1、かわらけ2	14世紀・16世紀後半	
	15号やぐら	瀬戸美濃擂鉢1、かわらけ2、瓦質土釜1	14世紀末～16世紀前半	
	16号やぐら	かわらけ6	16世紀後葉	
帰源院下やぐら群	第2号やぐら	瀬戸窯灰釉鉢1・筒香炉1、常滑窯甕1、かわらけ4		55
	第4号やぐら	瀬戸窯灰釉鉢1、常滑窯片口鉢1、瓦1	14世紀	
	第3号やぐら	かわらけ1		56
	第6号やぐら	白磁皿1、青磁鉢1、かわらけ1		
	第3号やぐら	かわらけ片		57
	第6号やぐら	龍泉窯系青磁鎬蓮弁文碗1、褐釉壺1、黒釉壺1、黄瀬戸小皿1、常滑窯甕3・捏鉢1、かわらけ7、瓦質火鉢1、土師質火鉢1	13世紀～15世紀	
西管領屋敷南やぐら群	第3号やぐら	瀬戸窯灰釉鉢1、かわらけ1		58
	第5号やぐら	瀬戸窯灰釉鉢1、常滑窯甕1		
	第3号やぐら	かわらけ1		56
正法寺遺跡	1号窟・前面平場	かわらけ4		59
	5号窟墓壙	常滑窯甕1、かわらけ24	15世紀	
	5号窟	常滑窯甕1		
	6号窟	常滑窯片口鉢2、かわらけ15、滑石製鍋1	14～15世紀	
	6号窟方形土坑1	瀬戸窯鉄釉天目碗、かわらけ206	14世紀	
	7号窟	瀬戸窯擂鉢、常滑窯甕、かわらけ33、在地系土鍋1	15世紀	
	8・9号窟	かわらけ1	15世紀	
	10号窟	白磁口元皿1、かわらけ2、瓦質器火鉢1、瀬戸窯擂鉢1	15世紀～近世	
	11号窟	龍泉窯系青磁鎬蓮弁文碗1、瀬戸窯灰釉折縁皿1、かわらけ3		
尾藤谷やぐら群	第1号やぐら	瀬戸窯鉄釉壺1、常滑窯甕1、瓦質火鉢1、かわらけ4	15世紀代	60
	第2号やぐら	白磁皿1、瀬戸窯折縁深皿1・直縁大皿1、常滑窯甕2、かわらけ14	15世紀代	
	第3号やぐら	羽釜1、瓦質火鉢1、かわらけ6	15世紀代	
	第4号やぐら	青磁蓮弁文碗1・雷文帶碗1・鎬蓮弁文碗、白磁皿1・八角壺1、瀬戸窯天目茶碗1・灰釉小鉢1・灰釉折縁皿1・灰釉平碗2・鉄釉碗1・鉄釉四耳壺1・褐釉壺1・灰釉綠釉皿1・灰釉卸皿2・灰釉柄付片口1・灰釉深皿1・灰釉燭台1、常滑窯片口鉢2・擂鉢2・甕4、瓦質碗1・火鉢9・香炉1、土鍋2、かわらけ178	13世紀後半～15世紀後半・16世紀	
	第5号やぐら	白磁皿1、青磁人物像燭台1、瀬戸窯灰釉折縁皿1・灰釉鉢1・灰釉端反碗1・灰釉平碗1、常滑窯甕5、かわらけ29	13世紀後半・15世紀代	

遺跡名	出土遺構	出土遺物	年代	文献番号
尾藤谷やぐら群	第6号やぐら	龍泉窯系青磁鉢2、瀬戸窯鋲釉擂鉢1、常滑窯片口鉢2・甕3・壺1、かわらけ19	14世紀後半～15世紀代	60
	第8号やぐら	かわらけ19	14世紀中期～15世紀代	
多宝寺跡やぐら群	第11号やぐら	黒釉広口壺、瀬戸窯小壺、常滑窯壺、かわらけ		61
	第12号やぐら	かわらけ		
	第14号やぐら	常滑窯壺、かわらけ		
	19号やぐら	瀬戸窯灰釉四耳壺・卸皿	13世紀末～14世紀前半	
史跡巨福呂坂内やぐら	1号窟	かわらけ7、常滑窯甕、瓦質器、玉石	15世紀後半～16世紀前半	62
	2号窟	かわらけ34、瀬戸窯灰釉盤3、玉石	15世紀後半～16世紀前半	
華光院跡やぐら群		かわらけ35、瓦質器1	15世紀前半	63
無量寺ヶ谷やぐら群	上部平場遺構	瀬戸窯灰釉平碗1、かわらけ3、銅錢3		64
	第1号やぐら	白磁口兀皿1、青磁連弁文碗2・碗1、青白磁碗1、褐釉劃花文壺1、瀬戸窯鉄釉天目碗2・灰釉平碗2・卸皿1・小壺1、常滑窯片口鉢3・甕2、瓦質器手焙り6・灯明台1、かわらけ104	15世紀～16世紀前半	
	第2号やぐら	青磁連弁文碗2、青白磁梅瓶1、瀬戸窯灰釉鉢3・盤1・碗3・入子1、常滑窯片口鉢1・甕3、渥美窯小壺1、かわらけ10、瓦質器灯明台1	15世紀	
	第3号やぐら	瀬戸窯灰釉折縁皿1・水注1、常滑窯片口鉢1・甕6、かわらけ12	15世紀～16世紀後半	
	第4号やぐら	青白磁皿1、常滑窯甕1、かわらけ53、白かわらけ12、瓦質器	14世紀中葉～15世紀前半	
佐助ヶ谷遺跡内やぐら	1号やぐら	瀬戸窯灰釉水注1・折縁深皿2・鉢1・卸皿1、常滑窯甕6・片口鉢4、瓦質器4、かわらけ5		65
	2号やぐら	常滑窯片口鉢1、かわらけ1	14～15世紀	
佐助2丁目やぐら群	1号窟	龍泉窯青磁碗1、瀬戸窯鉄釉茶入、常滑窯甕2、備前窯擂鉢1、かわらけ619片、	14世紀	66
松谷寺やぐら	1号窟	常滑窯壺1	13世紀末～14世紀前半	67
	2号窟	かわらけ12		
	3号窟	かわらけ7		
	4号窟	かわらけ3		
	5号窟	かわらけ2		
	7号窟	かわらけ14		
	8号窟	かわらけ6		
	11号窟	常滑窯壺1、かわらけ4、瓦		
	12号窟	かわらけ4、瓦		
	13号窟	かわらけ6		
	やぐら群前面平場	山茶碗系片口鉢1、かわらけ18、早島式土器1		
	1号溝	かわらけ23		
佐助ヶ谷遺跡内やぐら	表採	かわらけ2		
	1号窟	瀬戸窯鉄釉仏華瓶1	14世紀前半	68
	2号窟	白磁水注1、瀬戸窯灰釉四耳壺2・灰釉折縁鉢1、常滑窯壺3・小甕1・甕・片口鉢、東播系片口鉢1、瓦質器1、かわらけ7	13～14世紀	69

遺跡名	出土遺構	出土遺物	年代	文献番号
笛目遺跡内やぐら	1号窟	龍泉窯系青磁鉢1・白磁皿1・瀬戸窯鉄釉瓶子1・灰釉折縁皿4・鉢1・常滑窯薺口壺1・片口鉢1・甕5・備前窯擂鉢1・かわらけ17		70
	2号窟	青磁碗2・盤1・瀬戸窯鉄釉水注1・灰釉卸皿2・鉢1・常滑窯甕7・片口鉢2・備前窯擂鉢1・瓦質器2・かわらけ106	14世紀～17世紀初頭	
長楽寺南やぐら群	1号窟	常滑窯壺1・かわらけ4	14世紀	71
	2号窟	龍泉窯系青磁皿2・香炉1・瀬戸行平1・かわらけ1	14世紀	
	3号窟	龍泉窯系青磁皿1・綠釉壺1・かわらけ1・伊勢系鍔釜1・瓦質器2	14世紀	
	4号窟	白磁皿1・青白磁梅瓶1・香炉1・龍泉窯系青磁花瓶1・小杯1・皿1・水盤1・磁州窯鉄釉瓶子1・均窯鉄釉花盆1・褐釉花盆1・瀬戸窯灰釉広口壺1・入子1・折縁皿3・折縁鉢1・香炉1・仏華瓶1・卸皿2・盆1・常滑窯片口鉢1・甕6・瓦質器1・かわらけ10	14～15世紀	
極楽寺やぐら群	第1号やぐら	かわらけ4	15世紀中葉～後葉	72
	第1号やぐら	常滑窯甕7・かわらけ59	15世紀後半	73
	第1号やぐら	瀬戸窯碗形鉢1・常滑窯甕6・かわらけ128	14世紀後半～17世紀	74
極楽寺旧境内遺跡内やぐら	1号窟	かわらけ2		75
	2号窟	かわらけ2		
	1号やぐら	常滑窯壺1	13世紀後半	76
真言院北やぐら群	第1号やぐら	瀬戸窯四耳壺片1・常滑窯甕5・片口鉢1・かわらけ30・平瓦2	15世紀初頭～後半	77
極楽寺前やぐら	1号窟	瀬戸窯灰釉香炉・卸皿・常滑窯甕2・瓦質器1・かわらけ101・瓦4	14世紀後半～15世紀	78
極楽寺近世やぐら		かわらけ2		79
極楽寺西ヶ谷東側やぐら群	第1号やぐら	常滑窯甕3・壺2・瓦質火鉢1・かわらけ10	14世紀中葉～後葉、15世紀中葉～後葉	80
	第1号やぐら	常滑窯甕4・かわらけ9・瓦質釜4	15世紀後半～16世紀	81
極楽寺旧境内遺跡内やぐら	1号窟	瀬戸窯灰釉製品3・常滑窯甕586・かわらけ49・瓦2	14世紀末～15世紀	82
	2号窟	常滑窯甕875・かわらけ85	14世紀末～15世紀	
子守神社砦遺跡		常滑窯甕3・かわらけ13	14世紀～近世	83
川名森久地区遺跡群	1号やぐら	かわらけ2	14世紀前半	84
	2号やぐら	かわらけ19	14世紀後半～15世紀初頭	
和田山やぐら群	第1号やぐら	かわらけ5	15世紀前半	85
	3号やぐら	かわらけ21	16世紀代	86
陣屋谷戸やぐら群	第7号やぐら	常滑窯甕73	13世紀後半	87
正禪寺やぐら群	5・6号やぐら	かわらけ34・瓦質器1	15世紀初頭～前葉	88
正觀寺やぐら群	1号やぐら	かわらけ1	16世紀後半	89
長坂やぐら群	第10号穴	瀬戸窯柿釉瓶子片1・常滑窯小形壺1・かわらけ2	13世紀後半～14世紀前半	90
長坂宮ノ前やぐら群	第1号やぐら	常滑窯甕1・かわらけ4	16世紀後半～末	91
薬王寺やぐら群	1号やぐら	常滑窯壺3・かわらけ2	14世紀初頭～前半	92
	2号やぐら	常滑窯壺1・かわらけ4	14世紀前半～中	
	4やぐら	かわらけ3	14世紀後半～15世紀代	

遺跡名	出土遺構	出土遺物	年代	文献番号
八坂やぐら群	第2号やぐら	常滑窯甕5、かわらけ58	16世紀~17世紀	93
	第3号やぐら	瀬戸窯仏花瓶1、かわらけ81	13世紀~17世	
	第5号やぐら	かわらけ4	16世紀代	
	第1号やぐら	かわらけ1		
	第2号やぐら	かわらけ1	17世紀後半	
仲川やぐら群	仲川やぐら	龍泉窯系青磁稜花皿1	15世紀後半~16世紀	94
げんじが谷やぐら群	第2号やぐら	常滑窯甕肩部2		95
	第4号やぐら	瀬戸・美濃大窯鉄釉擂鉢片1		
正覚寺やぐら群	第1号やぐら	かわらけ16	16世紀前半	96
	第2号やぐら	青磁蓮弁文碗1	13世紀後半~14世紀前半	
	第3号やぐら	瀬戸窯鉄釉擂鉢1、常滑窯甕1、かわらけ1	13世紀後半、16世紀前半	
逗子市小坪6丁目やぐら群	2号穴	かわらけ8	16世紀代	97
竹の谷戸やぐら	1号やぐら	瀬戸窯小壺1、かわらけ3	15世紀中頃以降	98
和田やぐら群	1号穴	かわらけ細片		99
間口またやぐら群	1号やぐら	かわらけ3	15世紀~17世紀代	100
	4号やぐら	瀬戸窯灰釉燭台1、かわらけ6	15世紀~17世紀代	

## 「やぐら」出土土器・陶磁器一覧表 参考文献

1. 東国歴史考古学研究所 1998 「釜利谷やぐら群」『中世石窟遺構の調査Ⅱ』東国歴史考古学研究所調査研究報告第15集
2. かながわ考古学財団 2000 『瀬戸町やぐら群・横穴墓』 かながわ考古学財団調査報告86
3. 東国歴史考古学研究所 1998 「上行寺東やぐら群」『中世石窟遺構の調査Ⅱ』 調査研究報告第15集
4. 上行寺東やぐら群遺跡調査団 2002 『上行寺東やぐら群遺跡発掘調査報告書』
5. 財団法人横浜市ふるさと歴史財団 1987 『六浦大道やぐら群』
6. 岡崎文喜他 1982 『六浦北部遺跡』
7. かながわ考古学財団 2000 『六浦三艘地区やぐら群』 かながわ考古学財団調査報告99
8. 永井正憲他 1986 『番場ヶ谷やぐら群発掘調査報告書』 鎌倉市教育委員会
9. 十二所稻荷小路遺跡内やぐら発掘調査団 1992 「十二所稻荷小路遺跡内やぐら」『平成2年度鎌倉市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査報告書』
10. 十二所稻荷小路遺跡内やぐら発掘調査団 1990 「十二所稻荷小路遺跡内やぐら」『昭和63年度鎌倉市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査報告書』
11. 十二所稻荷小路遺跡内やぐら発掘調査団 1990 『十二所稻荷小路遺跡内やぐら』
12. 東国歴史考古学研究所 1998 「光触寺旧境内遺跡内やぐら」『中世石窟遺構の調査Ⅱ』 東国歴史考古学研究所調査研究報告第15集
13. かながわ考古学財団 2001 「光触寺橋やぐら・大江稻荷跡所在やぐら群」『かながわ考古学財団調査報告』 113
14. かながわ考古学財団 2001 「一心院跡所在やぐら群」『かながわ考古学財団調査報告』 112
15. 東国歴史考古学研究所 1998 「明王院門前遺跡内やぐら」『中世石窟遺構の調査Ⅱ』 東国歴史考古学研究所調査研究報告第15集
16. かながわ考古学財団 2003 『明石谷やぐら群・明石谷東やぐら群』 かながわ考古学財団調査報告154

17. 公方屋敷跡内やぐら発掘調査団 1990「公方屋敷跡内やぐら」『昭和63年度鎌倉市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査報告書』
18. 公方屋敷跡内やぐら発掘調査団 1991「公方屋敷跡内やぐら」『平成元年度鎌倉市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査報告書』
19. 公方屋敷跡内やぐら発掘調査団 1993「公方屋敷跡内やぐら」『平成3年度鎌倉市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査報告書』
20. 宅間ヶ谷やぐら群発掘調査団 1991「宅間ヶ谷やぐら群」『平成元年度鎌倉市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査報告書』
21. 東国歴史考古学研究所 1994「報国寺遺跡内やぐら発掘調査報告書」『東国歴史考古学研究所調査研究報告』第1集
22. かながわ考古学財団 2001「宅間谷西第2やぐら群」『かながわ考古学財団調査報告』114
23. かながわ考古学財団 2002『宅間谷西第2やぐら群Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告137
24. 浄明寺釈迦堂ヶ谷遺跡発掘調査団 1989『浄明寺釈迦堂ヶ谷遺跡』
25. 瑞泉寺周辺遺跡内やぐら発掘調査団 1991「瑞泉寺周辺遺跡内やぐら」『平成元年度鎌倉市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査報告書』
26. かながわ考古学財団 2000「鎌倉城（二階堂紅葉ヶ谷）所在やぐら群」『かながわ考古学財団調査報告』88
27. かながわ考古学財団 2001「覚園寺総門跡東やぐら群」『かながわ考古学財団調査報告』115
28. 東国歴史考古学研究所 1998「No331遺跡内やぐら」『中世石窟遺構の調査Ⅱ』東国歴史考古学研究所調査研究報告第15集
29. かながわ考古学財団 2002『覚園寺総門跡東やぐら群Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告138
30. 二階堂会下やぐら群発掘調査団 1987『会下山西やぐら発掘調査報告書』
31. 東国歴史考古学研究所 1996「天王寺跡やぐら」『中世石窟遺構の調査』東国歴史考古学研究所調査研究報告第7集
32. 東国歴史考古学研究所 1998「天王寺跡やぐら」『中世石窟遺構の調査Ⅱ』東国歴史考古学研究所調査研究報告第15集
33. 大倉幕府北遺跡発掘調査団 1999『大倉幕府北遺跡発掘調査報告書』
34. かながわ考古学財団 2004『大倉幕府北やぐら群』かながわ考古学財団調査報告162
35. 杉本城跡内やぐら発掘調査団 1991「杉本城跡内やぐら」『平成元年度鎌倉市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査報告書』
36. 報国寺境内やぐら群発掘調査団・杉本寺周辺遺跡内やぐら発掘調査団 1988『報国寺境内やぐら・杉本寺周辺遺跡内やぐら発掘調査報告書』
37. 東国歴史考古学研究所 1996「杉本寺周辺遺跡内やぐら」『中世石窟遺構の調査』東国歴史考古学研究所調査研究報告第7集
38. かながわ考古学財団 2004『西御門東やぐら群』かながわ考古学財団調査報告181
39. かながわ考古学財団 2004『西御門東やぐら群Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告187
40. 山王堂跡発掘調査団 1990『名越・山王堂跡発掘調査報告書』
41. かながわ考古学財団 2000『鎌倉城（大町3丁目）所在やぐら』かながわ考古学財団調査報告89
42. かながわ考古学財団 2001『山王堂東谷やぐら群』かながわ考古学財団調査報告117
43. かながわ考古学財団 2002『山王堂東谷やぐら群Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告140
44. かながわ考古学財団 2004『山王堂東谷やぐら群Ⅲ』かながわ考古学財団調査報告182

45. かながわ考古学財団 2004『山王堂東谷やぐら群V』かながわ考古学財団調査報告186
46. 東国歴史考古学研究所 1994「中世山腹墓所遺跡の調査 No302遺跡内やぐら（八雲神社境内）発掘調査報告書」『東国歴史考古学研究所調査研究報告』第8集
47. かながわ考古学財団 2000『弁ヶ谷東やぐら群』かながわ考古学財団調査報告94
48. 新善光寺跡やぐら発掘調査団 1988『新善光寺跡やぐら発掘調査報告書』
49. かながわ考古学財団 1999『鎌倉城（No87）所在やぐら群』かながわ考古学財団調査報告74
50. 弁ヶ谷遺跡やぐら群発掘調査団 1991「弁ヶ谷遺跡やぐら群」『平成元年度鎌倉市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査報告書』
51. かながわ考古学財団 2000『弁ヶ谷やぐら群』かながわ考古学財団調査報告98
52. かながわ考古学財団 1999『長勝寺跡（No88）所在やぐら群』かながわ考古学財団調査報告71
53. かながわ考古学財団 2001『長勝寺跡内やぐら群』かながわ考古学財団調査報告116
54. かながわ考古学財団 2004『長勝寺跡内やぐら群II』かながわ考古学財団調査報告174
55. 円覚寺境内西やぐら群調査団 1983『円覚寺境内西やぐら群発掘調査報告書』
56. 神奈川県立埋蔵文化財センター 1984『西管領屋敷やぐら群』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告6
57. 神奈川県立埋蔵文化財センター 1985『帰源院下やぐら群』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告9
58. 西管領屋敷南やぐら群調査団 1984『西管領屋敷南やぐら群発掘調査報告書』
59. 東国歴史考古学研究所 1999「正法寺遺跡」『中世石窟遺構の調査III』東国歴史考古学研究所調査研究報告第22集
60. かながわ考古学財団 1999『尾藤谷やぐら群』かながわ考古学財団調査報告64
61. 多宝律寺遺跡発掘調査団 1976『多宝律寺遺跡発掘調査報告書』鎌倉市教育委員会
62. 東国歴史考古学研究所 1999「史跡巨福呂坂内やぐら」『中世石窟遺構の調査III』東国歴史考古学研究所調査研究報告第22集
63. 鎌倉市教育委員会 2003「華光院跡やぐら群」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』19
64. 鎌倉市教育委員会 1992「無量寺跡（No196）」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』8
65. 佐助ヶ谷遺跡内やぐら発掘調査団 1997『佐助ヶ谷遺跡内やぐら』
66. 東国歴史考古学研究所 1996「佐助2丁目やぐら群」『中世石窟遺構の調査』東国歴史考古学研究所調査研究報告第7集
67. 東国歴史考古学研究所 1998「松谷寺跡内やぐら」『中世石窟遺構の調査II』東国歴史考古学研究所調査研究報告第15集
68. 東国歴史考古学研究所 1998「松谷寺やぐら」『中世石窟遺構の調査II』東国歴史考古学研究所調査研究報告第15集
69. 佐助ヶ谷遺跡内やぐら発掘調査団 1991「佐助ヶ谷遺跡内やぐら」『平成元年度鎌倉市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査報告書』
70. 笹目遺跡内やぐら発掘調査団 1990「笹目遺跡内やぐら」『昭和63年度鎌倉市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査報告書』
71. 東国歴史考古学研究所 1998「長楽寺南やぐら群」『中世石窟遺構の調査II』東国歴史考古学研究所調査研究報告第15集
72. かながわ考古学財団 1999『極楽寺やぐら群（No128）』かながわ考古学財団調査報告72
73. かながわ考古学財団 2000『極楽寺やぐら群』かながわ考古学財団調査報告90

74. かながわ考古学財団 2000『極楽寺やぐら群』かながわ考古学財団調査報告93
75. 東国歴史考古学研究所 1995「極楽寺旧境内遺跡内やぐら」『中世石窟遺構の調査Ⅱ』東国歴史考古学研究所調査研究報告第15集
76. 神奈川県教育委員会 2002「鎌倉市極楽寺1丁目23の平成11年度急傾斜地崩壊対策事業に伴う立会調査」『神奈川県埋蔵文化財調査報告』44
77. かながわ考古学財団 2003『真言院北やぐら群』かながわ考古学財団調査報告156
78. 東国歴史考古学研究所 1996「極楽寺旧境内遺跡内横穴墓」『中世石窟遺構の調査』東国歴史考古学研究所調査研究報告第7集
79. 鎌倉市教育委員会 1983『鎌倉市埋蔵文化財発掘調査年報』1
80. かながわ考古学財団 1999『一升杵遺跡（No293）所在やぐら群』かながわ考古学財団調査報告73
81. かながわ考古学財団 2000『一升杵遺跡所在やぐら群』かながわ考古学財団調査報告100
82. 東国歴史考古学研究所 1996「極楽寺旧境内遺跡内やぐら」『中世石窟遺構の調査』東国歴史考古学研究所調査研究報告第7集
83. 子守神社砦遺跡発掘調査団 2000『子守神社砦遺跡発掘調査報告書』
84. 川名森久地区遺跡発掘調査団 1996『藤沢市川名森久地区埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』
85. かながわ考古学財団 2001『和田山やぐら群遺跡Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告119
86. かながわ考古学財団 2003『和田山やぐら群遺跡Ⅲ』かながわ考古学財団調査報告148
87. かながわ考古学財団 2000『陣屋谷戸やぐら群遺跡』かながわ考古学財団調査報告84
88. かながわ考古学財団 2004『正禅寺やぐら群』かながわ考古学財団調査報告173
89. かながわ考古学財団 2004『正觀寺やぐら群』かながわ考古学財団調査報告177
90. 長坂やぐら群発掘調査団 1981『横須賀市長坂やぐら群の調査』
91. かながわ考古学財団 2003『長坂宮ノ前やぐら群』かながわ考古学財団調査報告144
92. かながわ考古学財団 2004『薬王寺やぐら群』かながわ考古学財団調査報告176
93. かながわ考古学財団 1997『池子遺跡群Ⅳ』かながわ考古学財団調査報告26
94. かながわ考古学財団 1999『池子遺跡群Ⅶ』かながわ考古学財団調査報告43
95. かながわ考古学財団 1999「逗子市げんじが谷横穴墓群及びやぐら群」『平成10年度三浦・逗子・横須賀市内急傾斜地崩壊対策事業に伴う発掘調査』かながわ考古学財団調査報告62
96. かながわ考古学財団 2002『正覚寺やぐら群遺跡』かながわ考古学財団調査報告132
97. 急傾斜地区埋蔵文化財調査団 1997『逗子市小坪5丁目やぐら群の第2次調査』
98. かながわ考古学財団 2003『竹の谷戸やぐら』かながわ考古学財団調査報告145
99. 三浦市急傾斜地区埋蔵文化財調査団 1989『三浦市和田やぐらの第3次調査』
100. かながわ考古学財団 2004『間口またやぐら群』かながわ考古学財団調査報告172

第2表 神奈川県内「やぐら」集成一覧（集成遺漏分）

番号	遺跡名	所在地	基数	立地	調査年月日	備考	文献番号
126	淨明寺釈迦堂ヶ谷遺跡	鎌倉市淨明寺字釈迦堂621番	2	崖裾	1987年6月22日～8月22日、1987年8月24日～1988年5月5日	斜面中腹を造成した平場に面する	188

※新番号付与

第3表 神奈川県内「やぐら」集成一覧（2003年4月以降刊行分）

番号	遺跡名	所在地	基数	立地	調査年月日	備考	文献番号
37	山王堂東谷やぐら群	鎌倉市大町3丁目1378番、1381番3	3	崖裾	2002年12月26日～2003年2月6日		189
		鎌倉市大町3丁目1338番	1	崖裾	2003年9月1日～9月29日		190
		鎌倉市大町3丁目1339番	1	崖裾	2004年6月30日～7月12日		191
127	西御門東やぐら群	鎌倉市西御門1丁目22番1、23番、25番1、2	9	崖裾	2001年7月5日～8月1日・10月19日～10月24日・11月8日～11月19日、2002年7月15日～8月12日・12月2日～12月25日、2003年2月7日～3月31日	他に造成遺構2基	192
		鎌倉市西御門1丁目31番	1	崖裾	2003年8月29日～9月8日・9月29日～10月23日		193
128	旗立山やぐら群	三浦郡葉山町堀内40、41-1	2	崖裾	2004年6月14日～6月29日		194
129	矢作第2やぐら群	三浦市初声町和田3324～3326番	5	崖裾	2004年3月11日～3月26日		195

※37は追加、他は新番号付与

## 文献

188. 淨明寺釈迦堂ヶ谷遺跡発掘調査団 1989『淨明寺釈迦堂ヶ谷遺跡』
189. かながわ考古学財団 2005『山王堂東谷やぐら群Ⅲ』かながわ考古学財団調査報告182
190. かながわ考古学財団 2005『山王堂東谷やぐら群Ⅳ』かながわ考古学財団調査報告184
191. かながわ考古学財団 2005『山王堂東谷やぐら群Ⅴ』かながわ考古学財団調査報告186
192. かながわ考古学財団 2005『西御門東やぐら群』かながわ考古学財団調査報告181
193. かながわ考古学財団 2005『西御門東やぐら群Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告187
194. かながわ考古学財団 2005『旗立山やぐら群』かながわ考古学財団調査報告183
195. かながわ考古学財団 2005『矢作第2やぐら群』かながわ考古学財団調査報告188

※文献番号は前回（『研究紀要10 所収』）番号から続く